

# 知っておきたい防災知識

## 気象注意報・警報・情報・土砂災害警戒情報

	種類	発表の時期
注意報	風雪、強風、大雨、大雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷(雪)、霜、低温、融雪、高潮、波浪、洪水	災害が起こるおそれがある場合
警報	暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮、波浪、洪水	重大な災害が起こるおそれがある場合
情報	台風、低気圧、大雨、大雪、少雨、長雨、低温、日照不足など	注意報・警報を補完する必要がある場合など
土砂災害警戒情報	大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が非常に高まったときに、市町村長が避難勧告等の災害応急対応を適時適切に行えるよう、また、住民の自主避難の判断の参考となるよう、対象となる市町村を特定して都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。	

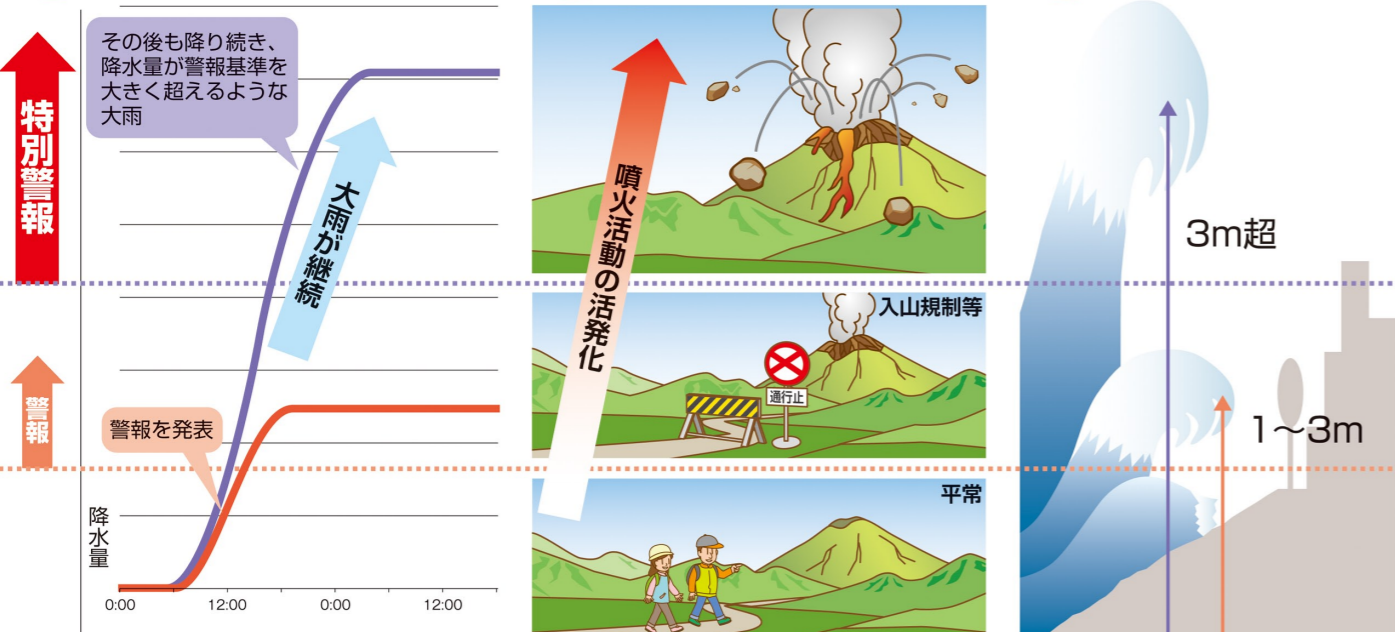
## 大雨の場合に気象台が発表する防災気象情報



## 特別警報

### 特別警報のイメージ

- 地震** 震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合〔緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける〕
- 大雨** 数十年に一度の大雨となるおそれが大きいときに発表
- 噴火** 居住地域に影響が及ぶ噴石や降灰等のおそれが大きいときに発表
- 津波** 内陸まで影響が及ぶ大津波のおそれが大きいときに発表

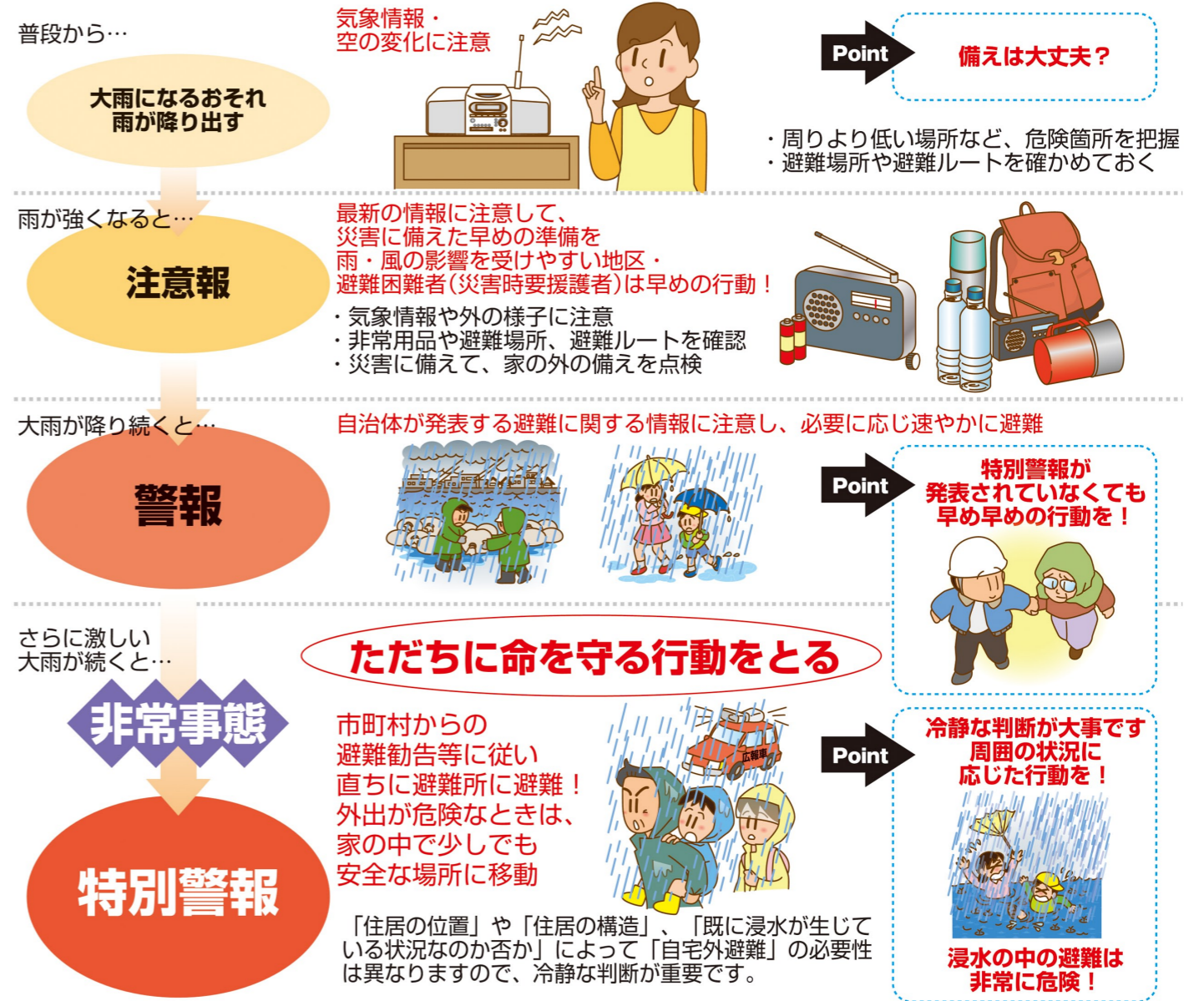


## 特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。  
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/shihyou.pdf>

## 災害から身を守るために(大雨の場合)



「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。